

～いいものを作れば儲かることを伝えたい！～
清野 弘和さん（伊予市）

ハウスみかん農家、愛媛県農業指導士 1955 年生まれ



☆経営概況☆

両親と共にハウスみかん 13a、キウイフルーツ 40 a、紅まどんな 18a、温州みかん 5a などの生産に取り組んでいます。

☆ここがポイント☆

■いいものを作れば市場は取ってくれる！

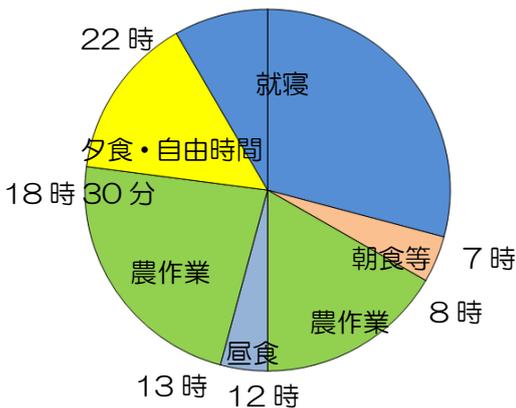
ハウスみかんは、日本一のかんきつ県である愛媛にとって、夏に欠かせないものだと思っています。家で選果などの作業は大変ですが、採算も取れているうえに市場からの引き合いも強いので、もっと若い人たちにも戻ってきてみかんを作りたいと思っています。

■いろいろなところから情報収集をして生産に活かす工夫を！

他の地域に行っているいろいろな話を聞くことは、農業にとって本当に大切なことです。そこから得られる情報を基に試してみると、品質が向上するなど、より前向きに農業に取り組むことができます。

最近では、病害虫にも強く手間がかからないアボカドが女性に人気があると聞いてチャレンジしています。

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

☆農業の未来は明るいと言えるよう、労力にあった品種更新や施肥管理の研究等、色々と工夫しています。

☆農業はやって行けるという前向きな事を農業高校や地域の会等身近なところで機会あるごとに情報発信しています。



【一年間のライフスタイル（一例）】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【収穫作業時期】											
甘平	デコボン						ハウスみかん		キウイ		
←→←→							←→	←→	←→		←→
				田植え				極早生	中生		紅まどんな
								←→	←→		←→
← 管理作業・剪定・摘果 →											

☆これから目指すもの☆

■農業で食べていけることを伝えていきたい！

条件の良い地域でしっかりとしたものを作れば、儲かるしやっといけるという前向きな話を、地元の農業高校や地域の会などで話しています。これからも発信し続けることで、この地域を守る人を少しでも多く増やしていきたいと思っています。

☆メッセージ☆

■農業は皆さんが思っているよりも明るい！

市場の人と話をしても感じますが、農業の未来は思っているより明るいと思います。市場が求める「どんどん作って欲しいもの」を知り、いいものを作って、共販として農協から出荷することでしっかりと収入を得ることができると思います。

ただ、そのためには農家自身にも工夫が必要だし、いろいろな考え方を変えていく必要があるのではないのでしょうか。